

## 平成 23 年度 横須賀美術館 事業計画書

### 1 展覧会事業

国内外の優れた美術品を展示し、感動と思索を得る場を提供する。

#### (1) 企画展…特定のテーマによる展示とし、年 6 回開催を予定する。

##### ① 生誕 100 年 川端実 展 東京—ニューヨーク

4 月 23 日（土）～7 月 3 日（日）

- ・ニューヨークを舞台に活躍した抽象画家・川端実（1911～2001）。本展は、川端の生誕 100 年を記念し、初期から最晩年まで、戦後に描かれた、色鮮やかで力強く緊張感をはらんだ作品の変遷を、代表作約 55 点を通じてご紹介する。

##### ② 親子で楽しむ美術館 生まれ！おもしろどうぶつ展

7 月 16 日（土）～ 8 月 28 日（日）

- ・身近で親しみやすい動物をテーマとした、子どもも大人も楽しめる展覧会。幕末の浮世絵から現代絵画、彫刻まで約 70 点の作品を通じて日本美術のなかの動物表現を紹介する。

##### ③ 描かれた不思議 トリック & ユーモア

9 月 10 日（土）～11 月 6 日（日）

- ・江戸時代の浮世絵から近現代美術まで、東西を問わず、鑑賞者をまどわすような仕かけのある作品や機知に富んだ作品など約 80 点をご紹介する。

##### ④ 島田章三展

11 月 19 日（土）～12 月 25 日（日）

- ・横須賀に生まれた島田章三（1933— ）はおよそ半世紀にわたり具象絵画の可能性を探求し続けた、現代洋画壇を代表する画家である。その歩みを油彩、版画、素描等約 100 点によって紹介する。

##### ⑤ 児童生徒造形作品展

1 月 14 日（土）～ 1 月 30 日（月）

- ・市立の幼・小・中・高・ろう・養護、すべての学校園の子ども達が日頃の授業で作り上げた平面作品立体作品など約 3,000 点を展示する。

##### ⑥ 正岡子規と美術

2 月 11 日（土祝）～ 4 月 15 日（日）

- ・近代俳句の革新者・正岡子規（1867-1902）の唱えた「写生」の理論は、浅井忠、中村不折ら洋画家との交流の中で育まれた。子規自筆の写生画と同時代の美術を通じて、小説「坂の上の雲」の時代精神に迫る展覧会。

(2) 所蔵品展…横須賀美術館が所蔵する日本の近現代の美術品（絵画、彫刻等）及び谷内六郎作品を、年4回開催する。

① 第1期 所蔵品展 谷内六郎<週刊新潮表紙絵>展[1976]

4月10日（土）～6月27日（日）

② 第2期 所蔵品展（拡大展） 谷内六郎<週刊新潮表紙絵>展[1976]

7月3日（土）～9月26日（日）

・所蔵作品の展示に加え、横須賀・三浦半島にゆかりのある作家の作品を10点程度借用し、特集展示として特色づける。

③ 第3期 所蔵品展 谷内六郎<週刊新潮表紙絵>展[1976]

10月2日（土）～12月12日（日）

④ 第4期 所蔵品展 谷内六郎<週刊新潮表紙絵>展[1976]

12月18日（土）～4月3日（日）

(3) 次年度以降の展覧会の開催に向けた調査研究

日本の近現代美術をはじめ、海外の美術、横須賀・三浦半島にゆかりのある作家など、次年度以降に開催をしていく展覧会にかかる調査研究を行う。

## 2 教育普及事業

多くの人に美術の楽しみを与えるとともに、美術を深く理解するための教育普及事業を展開する。「美術館活動の基本方針」の5つの柱に基づく。

(1) 知的好奇心の育成と充足

① 企画展及び谷内展関連の外部講師による講演会の開催 【7回】

展覧会を深く理解できるよう、外部講師による講演会を開催する。

（各企画展2回程度 児童生徒造形作品展を除く）

・開催：土日の午後 2時間程度（先着70名）

② ワークショップの開催 【7回】

美術への理解を深め、美術館に対して親しみを感じられるよう、多様なテーマによるワークショップ事業を開催する。

・展覧会に関連したワークショップ 4回

・大人向けワークショップ 3回

・開催：土日 定員：各20名程度（事前申込制）

③ 映画上映会の開催 【2回】

優れた映像美術に触れ、多様な表現に親しむことのできる映画会

(シネマパーティ)を開催する。

・開催：年2回(春・秋)土日夕方 定員：20名(事前申込制)

④ **学芸員による企画展ギャラリートーク** **【15回程度】**

展覧会の趣旨や見どころ、主要作品の解説など展覧会を深く理解していただく目的として開催する。

・企画展ごと3回程度(児童生徒造形作品展を除く)

・開催：土日の午後(当日自由参加)

⑤ **学芸員による展覧会観覧の案内・解説** **【随時】**

学生、グループなど、観覧にあわせ展覧会をより楽しく観覧できるよう要望に応じて、展覧会の案内・解説を行う。

(2) **福祉活動の展開**

① **パフォーマンスの実施** **【1回】**

誰もがさまざまな美術表現に親しめるよう、美術家によるパフォーマンスを開催する。

・開催：4月(当日自由参加)

② **障害児向けワークショップ「みんなのアトリエ」** **【12回】**

障害のある子どもたちを対象に、身近にある材料で創作を体験するワークショップを開催する。

・開催：月1回 定員：10名(事前申込制)

③ **障害者向けワークショップの開催** **【1回】**

障害のある人を対象に、美術を楽しめるワークショップを開催する。

・開催：3月 定員：20名(事前申込制)

④ **福祉活動講演会の開催** **【1回】**

さわれる彫刻や絵画など、誰もが美術に親しめるさまざまな研究や事例を紹介していく講演会を開催する。

・開催：8月 定員：先着70名

⑤ **託児サービスの実施** **【30回程度】**

1歳～未就学児を対象に、展覧会の観覧やワークショップ等の参加をされる保護者向け、託児サービスを実施する。

・開催：月1回+ワークショップ等開催時 定員：5名(事前申込制)

(3) **学校との連携**

① **「アーティストと出会う会」(中学生ほか)** **【2回】**

活躍する現役アーティストを招聘し、子ども時代の夢や取り組みなどを紹介することで、中学生が将来への夢や希望を美術の側面から

支援する講演会を開催する。

・開催：夏休み 定員：先着 70 名

② **中学生のための美術鑑賞教室の開催** 【14 回】

中学生向けに解説カードやワークシートを用意し、学校外での美術を学ぶ場となる美術鑑賞教室を開催する。

・開催：夏休み 定員：先着 25 名程度

③ **「美術館鑑賞会」の受け入れ（市内全小学校 6 年生）** 【47 回】

市立の全小学 6 年生を対象に、ワークシートを用いて美術館における美術鑑賞教育となる鑑賞会を開催する。

・開催：6～3 月 対象：市立小学校 6 年生全員（学校ごとの参加）

④ **出前授業の実施** 【随時】

学校教育と連携し、美術館職員が学校に出向き、授業の中で美術館を活用した美術教育を実践する出前授業を実施する。

⑤ **職業体験の受け入れ** 【随時】

子どもたちが美術館での仕事を体験する職業体験の受け入れを行う。

⑥ **学芸員実習の受け入れ** 【随時】

(4) **市民との協働**

① **美術館ボランティア活動の推進**

ボランティアが美術館の活動を支援することで、自らのやりがいを見出し、市民の美術への親しみを増す一助となるとともに、市民交流場となることを目指し、ボランティア活動の推進を図っていく。

あわせて、ボランティア自身の美術への理解を深めるための育成を行っていく。

美術館ボランティアは、美術館活動を支援する「サポートボランティア」と、美術館を盛り上げるためイベントを自ら企画実施する「プロジェクトボランティア」の 2 チームの活動を継続している。

② **サポートボランティアによる活動** 【130 日程度】

- ・所蔵品展ギャラリートークの開催（毎週日曜日）
- ・ワークショップ事業の補助
- ・小学校美術館鑑賞会の受け入れ補助
- ・研修会、会議の開催

③ **プロジェクトボランティアによるイベントの企画実施** 【30 日程度】

- ・ゴールデンウィーク、夏休み、クリスマス等来館しやすい時期等に美術を通じた誰でも参加できるイベントを 3 回程度開催する。

(5) 子どもたちへの美術館教育

① ワークショップの開催

【10回】

子どもたちが美術に親しめるようなワークショップ事業を開催する。

- ・ 展覧会関連ワークショップの開催
- ・ 子ども向けワークショップの開催

開催：5月、10月、定員：30～60名程度（事前申込制）

- ・ 未就学児ワークショップの開催
- ・ 開催：3月 定員：40名程度（事前申込制）

② 映画上映会の開催

【2回】

気軽に映画を楽しめるよう屋外での映画会を開催する。

- ・ 開催：夏休み 定員：なし（当日自由参加）

3 美術品収集管理保管事業

新たな美術品の収集（寄贈、寄託の受け入れ）を行うとともに、  
所蔵する美術品約4,500点の管理を行う。

(1) 所蔵作品の修復、額装

(2) 環境調査の実施（年2回）

(3) 所蔵作品の撮影（印刷物用ポジフィルム作成及びデータ化）

(4) 美術品選定評価委員会の開催

(5) 美術品の収集（購入予算は無）

美術品の収集方針…近現代の絵画、版画、彫刻とし次の基準による。

- i 横須賀・三浦半島にゆかりのある作家の作品
- ii 横須賀・三浦半島を題材とした作品
- iii 「海」を描いた作品
- iv 日本の近現代を概観できる作品
- v その他、上記に関連ある国内外の優れた作品

#### 4 広報・集客事業

美術館を広く周知し、交流拠点として集客につなげるとともに、様々なイベントやPRを実施することで、親しみやすい美術館のイメージを高める。

##### (1) 美術館展覧会等の広報宣伝による集客促進

- ① 年6回開催する企画展PRとして、ポスターを京浜急行電鉄の駅へ掲出、及び同車内窓上への掲出（一部東京メトロ主要駅へも掲出）
- ② 京急線品川駅ホーム空調機壁面への集客PR広告内に美術館を掲載
- ③ 市内宿泊施設、福祉施設等へのPRとして、パンフレット等持参による営業
- ④ 美術館ホームページを活用した情報発信

##### (2) 美術にとらわれないイベントの実施による集客促進・イメージアップ

- ① 「恋人の聖地」認定を受け、カップル集客のためのイベント事業の実施（クリスマス、バレンタインデー）
- ② 美術館ギャラリーコンサートの開催
  - ・展示室内において本格的なコンサートを1回開催する。
- ③ ミニコンサートの開催

##### (3) 来館者サービスの向上による集客促進

- ① 年間パスポート・前売券の発行
- ② 福利厚生団体等との割引施設契約の実施
- ③ 文化の日、市制記念日（2/15）を無料観覧日に指定

##### (4) 他の施設・事業との連携による集客促進

- ① 他事業との連携
  - ・観音崎フェスタ（11/3）への参加。
  - ・観音崎航路、観音崎京急ホテル、観音崎自然博物館等との連携

#### 5 美術図書室運営事業

美術図書等約2万冊を揃えた図書室の運営し、利用者サービスをはじめ、美術を深く理解する場を提供する。

### (1) 所蔵図書の充実

- ① 企画展に関連する図書や子ども向けの絵本、貴重な美術雑誌（古書）など、新たに購入し蔵書の充実を図る。
- ② 寄贈された貴重な美術雑誌など古書の修復

### (2) 美術に関する情報提供

- ① 来館者が利用できる端末機を設置し、図書室の蔵書を検索できるようデータベースを随時更新

## 6 施設維持管理

### (1) 施設の運営・維持管理、業務委託等

- ① 受付展示監視業務
- ② 警備業務
- ③ 清掃業務
- ④ 各種設備機器等保守管理業務